

都市再生整備計画(第1回変更)

しわちゅうおうえきしゅうへんちく
紫波中央駅周辺地区

いわて しわちゅう
岩手県 紫波町

当初 令和7年 3月
第1回変更 令和8年 3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	岩手県	市町村名	しわらぶよう 紫波町	地区名	しわちゅうおうえきしゅうへんちく 紫波中央駅周辺地区	面積	73.5	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	

目標

大目標：紫波中央駅を中心とした活気あふれる魅力ある中心市街地の形成

目標1：快適に歩ける空間の確保による回遊性の向上

目標2：駅周辺の交通環境の整備によるエリア価値の向上

目標3：歴史や文化の地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)

本町は、岩手県の中核機能が集積する県都盛岡市から20km圏に位置する人口約3万3千人の都市である。町の中央部を南北に縦貫するJR東北本線、国道4号、北上川とした縦軸に沿って宅地化が進み市街地が形成されている。また、町の中央部の古館地区、日詰地区、赤石地区にはそれぞれ駅(古館駅、紫波中央駅、日詰駅)が存在し地域の拠点となっている。特に本計画区域を含む日詰地区は、商業機能や行政機関の集積した地区となっている。町の人口は、平成17年(2005年)の33,692人をピークに減少に転じており、令和17年(2035年)には30,115人に減少し、その後も減少傾向が続くものと推計されている。また高齢化率は、年々上昇しており、町全体では令和6年3月末時点において32.0%であり、特に東部及び西部では、その値が顕著であることから、集落のコミュニティが衰退するとともに、集落に残された既存インフラの有効活用が困難な状態となっている。さらには、町の中心市街地である本計画区域内にある日詰商店街は、行政機関の移転とコロナ禍の影響により、人流が少なくなり、更なる空き店舗の増加が懸念されている。このような状況下において、厳しい財政状況の中で持続可能な都市経営に取り組む必要があることから、都市全体の構造を見直し、居住機能と都市機能の立地・誘導や公共交通の充実などに関する包括的な構想計画の策定が必要となり、「紫波町立地適正化計画」(令和7年3月作成予定)を作成している。

紫波町立地適正化計画では、上位計画である第三次紫波町総合計画及び紫波町都市計画マスタープランを踏まえ、都市機能が集約された紫波中央駅周辺を都市機能誘導区域に位置づけることとし、都市活動の拠点として役割を担い、インフラ整備や地域の特色を生かした文化・観光資源を活用するとともに、また公民連携による既存ストックや低未利用地を人々の活動の場として、地域に密着したサービスを提供する魅力ある拠点として都市の再生を図ることを目指している。

まちづくりの経緯及び現況

紫波中央駅周辺地区(以下、「当地区」という。))は、古くから発展を遂げ、町の中心的役割を担ってきた地区であり、当地区内の東側には、奥州街道の宿駅が設けられ、宿場町、商人町として栄えた歴史のある商店街が形成されている。またJR紫波中央駅は、平成9年に商店街とその周辺の人々が、町の活性化に向けて新しい駅の誘致運動を展開した請願駅である。

当地区内のJR紫波中央駅西側では、平成19年から公民連携手法によるオガールプロジェクトを始動し、事業の進行に伴いオガールエリアへの来訪者が増え、賑わいが生まれていたが、JR紫波中央駅から東側へ直線距離で約0.9km離れた日詰商店街では、オガールプロジェクトで整備した地区と線路(東北本線と東北新幹線)を挟んで反対側にあること、さらにJR紫波中央駅の改札口が西側のみであることの影響により、東側への人流が少なく商店街の人通りが減り、元々空き店舗が目立つ中で、更に賑わいが失われてきていた。オガールプロジェクトを進めるにあたり策定した「紫波町公民連携基本計画」の中では、紫波中央駅前地区から日詰商店街地区までを公民連携推進区域として中心市街地のエリア価値の向上のため事業展開することとしており、日詰西地区、紫波中央駅前地区及び日詰商店街地区のそれぞれの地域間ネットワークの構築による回遊性の向上及び歴史や文化の地域資源を活かしたまちづくりにより、町の中心市街地の機能強化を図り、地域特性を生かした中心市街地の活性化を目指している。

課題

・地域住民及び来訪者が、安心して快適に通行できる歩行空間の確保が求められている。

・歩行者や自転車の利用促進として、駅周辺の回遊性及び快適性の向上が求められている。

・駅東口の開設に伴い、交通結節点として駅周辺の交通環境の整備が求められている。

・日詰商店街では生産年齢層を始め、人口が減少しており、担い手不足となっている。

・地域特性を活かした風情ある施設の整備や町有文化財の利活用により、にぎわいの創出が求められている。

将来ビジョン(中長期)

①第三次紫波町総合計画(2020-2027)(令和元年度策定)

・まちづくりの将来像を「暮らし心地の良いまち」を掲げ、自然や農村空間と都市的なコンテンツとの調和がとれた環境の中で、町民をはじめ、町に関わる多様な人たちがお互いを尊重し、認め合い、支え合うことで、心豊かに暮らせる地域をつくり、町に暮らす誰もが町民であることに誇りを持ち、将来に希望を抱けるまちを目指している。

②紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020-2024)(令和4年度改定)

・「日詰商店街」を中心にリノベーションまちづくり手法を取り入れて賑わいの再生を図り、公民連携開発区域全体のエリア価値向上を図る。

③紫波町都市計画マスタープラン(2013-2031)(平成25年度策定)

・紫波中央駅周辺から日詰商店街にかけての一帯を、「行政・公益」と「商業」の都市中心機能とし、日詰商店街地区は町の中心商業地、紫波中央駅前地区は情報交流機能を備えた新たな公益・行政の拠点、日詰西地区は2地区を繋ぐ業務地区として役割を分担し、地区を囲む幹線道路で回遊と連携を図ることにより、活動的で魅力ある都市中心機能拠点を形成する。

都市構造再編集中支援事業の計画

※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

・都市計画マスタープランに示す都市構造の方向性を基本として、生活サービスの効率性・効果的な提供といった視点に立って都市機能の一層の集積を図り、中心市街地を形成するそれぞれの拠点の役割を踏まえて、今後の人口減少・低密度化がもたらす社会経済の変動に対応できる市街地の再編を図る。また、中心市街地の西部は、オガールプロジェクトにより整備された町役場や、図書館・飲食・運動施設等の複合施設を備えた新たな中心拠点である紫波中央駅前地区があり、東部は川運業で栄えた時代からの街並みの趣を再生した従来からの中心拠点である日詰商店街地区がある。日詰西地区は、これら2つの拠点の中間に位置し、一定程度、商業・業務施設が集積しているが、紫波中央駅東口の開設に伴う駅前広場等の整備によりエリアの価値を高め、更なる商業・業務施設の誘致集積を図り、新たな都市環境を備えた中心拠点を創出する。この紫波中央駅周辺の整備により、中心市街地の3つの拠点が連担することで、回遊性が生まれ賑わいと活力のある中心市街地として再生を図り、この中心市街地が紫波町の吸引力となり、町全体の魅力向上に繋げる。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
	人／12時間			町道郡山駅9号線に流入する1日(12時間)の歩行者・自転車の数	歩行者と自転車の交通量の増加により快適に歩ける空間の確保と回遊性の向上の状況を把握する。	186人/12時間(平日)	R6年度
定住希望の割合	%	日詰地区住民アンケートにおいて定住を希望する回答者の割合	快適に歩ける空間の確保、エリア価値の向上及び魅力あるまちづくりに対する住民の総合的評価として、定住希望の高い割合を維持する。	87.5%	R5年度	87.5%	R11年度
地区内の居住人口	人	年度末時点の地区内の居住人口	地区人口の増加により、エリア価値の向上と魅力あるまちづくりの状況を把握する。	2,930人	R5年度	3,142人	R11年度

計画区域の整備方針	
【快適に歩ける空間の確保による回遊性の向上】 ・安心してまち歩きを楽しめるわかりやすい案内サインの整備 ・商店街の歴史的風致(風情のあるまち並み)を活かした魅力ある公共空間の創出	【方針に合致する主要な事業】 【基幹事業】(公園)日詰ふれあい広場 【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板)東裏中新田線 【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板)日詰線 【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板)紫波中央駅東通り線 【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板)平沢大地町線 【基幹事業】(高質空間形成施設 障害者誘導施設等)せせらぎ多目的公衆トイレ 【提案事業】事業効果分析
【駅周辺の交通環境の整備によるエリア価値の向上】 ・駅東口の開設に伴う駅前広場、駐輪場及び周辺道路の整備 ・情報提供機能の充実	【基幹事業】(道路 駅前広場)紫波中央駅東口駅前広場 【基幹事業】(道路)牡丹野中新田線 【基幹事業】(道路)日詰線 【基幹事業】(地域生活基盤施設 自転車駐車場)紫波中央駅東口駐輪場 【基幹事業】(高質空間形成施設 緑化施設等)ベンチ 【基幹事業】(高質空間形成施設 歩行支援施設)紫波中央駅東口待合シェルター 【提案事業】事業効果分析 【提案事業】日詰西通路
【歴史や文化の地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進】 ・商店街の歴史的風致(風情のあるまち並み)を活かした魅力ある公園及びバス待合所を兼ねた多目的トイレの整備 ・町が所有する県指定文化財建造物の利活用による賑わいの創出	【基幹事業】(公園)日詰ふれあい広場 【基幹事業】(高質空間形成施設 障害者誘導施設等)せせらぎ多目的公衆トイレ 【提案事業】事業効果分析 【関連事業】旧紫波郡役所活用事業 【関連事業】観光人材育成事業
その他	
【当計画におけるまちづくりの取り組みについて】 ・立地適正化計画の作成(令和7年3月) ・JR東日本と「東北本線紫波中央駅東口整備事業に関する基本協定書」を締結(令和5年6月) ・庁内の横断的な意見交換及び事業の調整として「紫波中央駅周辺地区整備事業調整会議」を設置(令和6年4月) ・せせらぎ多目的公衆トイレ及び紫波中央駅東口開設に伴う回遊道路等の検討として日詰商店会等とワークショップを実施(令和6年6月)	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	558	交付限度額	254.3	国費率	0.456
---------	-----	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

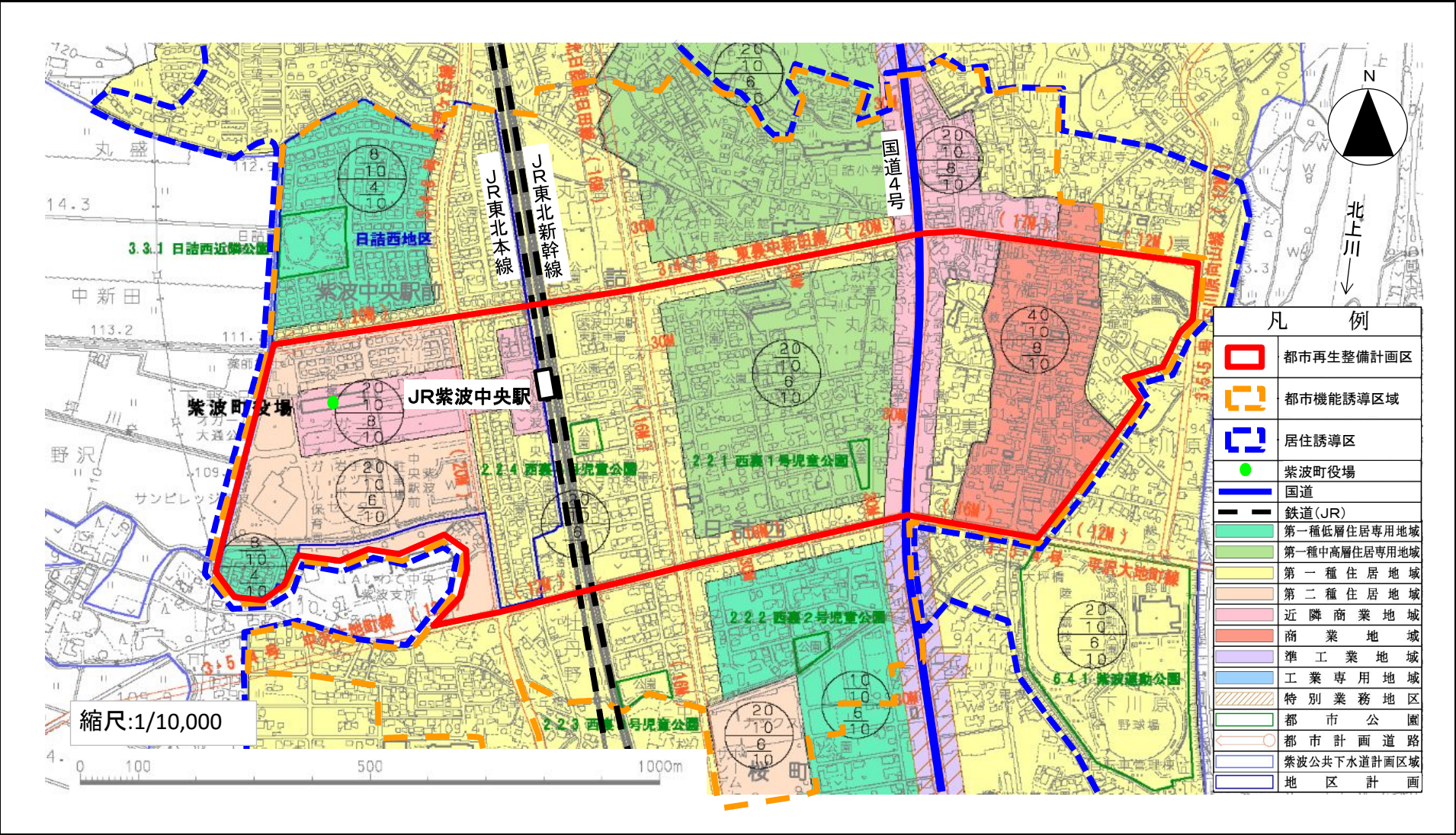
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		紫波中央駅東口駅前広場	紫波町	直	1800㎡	R7	R9	R7	R9	150	150	150		150	—
道路		牡丹野中新田線	紫波町	直	158m	R7	R9	R7	R9	49	49	49		49	—
道路		日詰線	紫波町	直	139m	R7	R10	R7	R10	47	47	47		47	—
公園		日詰ふれあい広場	紫波町	直	644㎡	R10	R10	R10	R10	20	20	20		20	—
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	自転車駐車場	紫波中央駅東口駐輪場	紫波町	直	226㎡	R8	R9	R8	R9	41	41	41		41	—
地域生活基盤施設	情報板	東裏中新田線	紫波町	直	4基	R9	R10	R9	R10	7	7	7		7	—
地域生活基盤施設	情報板	紫波中央駅東通り線	紫波町	直	1基	R9	R10	R9	R10	2	2	2		2	—
地域生活基盤施設	情報板	日詰線	紫波町	直	5基	R9	R10	R9	R10	8	8	8		8	—
地域生活基盤施設	情報板	平沢大地町線	紫波町	直	4基	R9	R10	R9	R10	7	7	7		7	—
高質空間形成施設	障害者誘導施設等	せせらぎ多目的公衆トイレ	紫波町	直	74㎡	R7	R7	R7	R7	58	58	58		58	—
高質空間形成施設	緑化施設等	ベンチ	紫波町	直	N=2基	R8	R9	R8	R9	2	2	2		2	—
高質空間形成施設	歩行支援施設	紫波中央駅東口待合シェルター	紫波町	直	N=1基	R8	R9	R8	R9	16	16	16		16	—
高次都市施設															
		地域交流センター													
		観光交流センター													
		テレワーク拠点施設													
		賑わい・交流創出施設													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
誘導施設															
		医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設													
		子育て支援施設													
		元地の管理の適正化													
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業 高次都市施設															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										407	407	407	0	407	—A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業		日詰西通路	紫波町	直	20m	R8	R8	R8	R8	144	144	144		144
事業活用 調査	事業効果分析調査	-	紫波町	直	-	R11	R11	R11	R11	7	7	7	0	7
まちづくり活動推進 事業														
合計										151	151	151	0	151

居住誘導促進事業													
事業	事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
居住誘導促進事業													
合計									0	0	0	0	0
												合計(A+B+C)	558

[illegible][illegible]

紫波中央駅周辺地区(岩手県紫波町)	面積	73.5	ha	区域	紫波町紫波中央駅一丁目、紫波中央駅二丁目、日詰西一丁目、日詰西五丁目、日詰西六丁目の全部と日詰字牡丹野、日詰字中新田、日詰字丸盛、日詰字下丸森、日詰字西裏、日詰字郡山駅、日詰字東裏、桜町字下川原の一部
-------------------	----	------	----	----	--



しわちゅうおうえきしゅうへんちく いわてけんしわちゅう

紫波中央駅周辺地区(岩手県紫波町) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 紫波中央駅を中心とした活気あふれる魅力ある中心市街地の形成	代表的な指標	自転車・歩行者の交通量 (人/12時間)	186人/12時間 (R6年度)	→	206人/12時間 (R11年度)
	目標1: 快適に歩ける空間の確保による回遊性の向上		定住希望の割合 (%)	87.5% (R5年度)	→	87.5% (R11年度)
	目標2: 駅周辺の交通環境の整備によるエリア価値の向上		地区内の居住人口 (人)	2,930人 (R5年度)	→	3142人 (R11年度)
	目標3: 歴史や文化の地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進					

